

基本構想・基本計画（中間案）に対する市民意見の概要

『中間案全体』

- ・全体の方向は賛同。・基本構想と基本計画の各章の全体構成は賛同。
- ・基本構想と基本計画の各章のつながり・関係性が分かりにくい。・市民に分かりやすい記載を。

『基本構想』

<市民力>

- ・「市民力」の強調は良い。・市民が主体となることが重要。・市民の心の活性化を。
- ・「市民力」がよく分からない。・課題認識等から必要性・重要性を導く記載に。

<都市像>

- ・4つの都市像は適切。「学びの都」が第1なのはよい。
- ・住みたくなった・暮らしてみたい都市を。・仙台らしさを。
- ・市民が希望をもって暮らせる持続可能な成熟都市づくりを。
- ・都市間競争の時代に選ばれる都市へ。・仙台圏や東北の中心都市。
- ・幸福の尺度が物から心へ移る中、ボランティア都市を。・安心できる社会を。
- ・温かみのある緑豊かな安らぎの街を。・美しく人にやさしい魅力的なまちを。

『基本計画』

第1章 総論

- ・総論の記載内容が薄い。・目的や時代認識と課題、構成などを明らかに。
- ・重点にしている理由や、重点・分野別・区別の関係性を分かりやすくすべき。

第2章 重点的な取り組み

- ・重点を掲げることは重要。

「重点政策」

<学びを創造につなげる都市づくり>

- ・学びを創造につなげる政策は重要。・学びは街づくりの重要。
- ・ミュージアム都市に賛同。・メディアテークの文化情報発信の拡大。・歴史観光の促進。

<支え合う社会づくり>

- ・子供たちが健やかに育ち高齢者が安心して暮らせるまちづくりを。
- ・介護・子育ての支え合いを。

<都市のデザイン>

- ・市街地の拡大を計画的に抑制し発展と集約のバランスを。
- ・東西線を活用する視点を強く打ち出すべき。・幅広い学術文化拠点の形成を。
- ・都市空間構造の仙台らしさを充実・深化すべき。・仙台駅周辺の交通改善を。
- ・都市軸にない地域の利便性の向上も大切。

<賑わい・活力づくり>

- ・新しい魅力・活力づくりを。企業誘致・内発型産業振興・新ビジネス開拓の推進で雇用・収益増を。
- ・交流人口の拡大を。・仙台空港やJR仙台駅のイメージづくり。・観光・コンベンション機能強化。

「経営方針」

<地域政策>

- ・地域自立の基盤となる自ら考え決定し実践する住民自治を。・地域が自ら選択する主体性が大事に。
- ・町内会等の地域団体の活性化。・地域住民や地域団体のつながり・連携・交流を。
- ・世代間交流の拡大を。・地域学習の拠点を。・地域のコンシェルジュを市民センター等が担うべき。
- ・古い住宅団地の高齢化・空洞化などの課題に組織横断的に取り組むべき。

<市民力>

- ・市民力のプロデュース・つなぎ・支援が大切。
- ・市民力の育成や行政のコーディネート力が重要。・市民力育成のための専門家支援を。
- ・企業の社会貢献・マネジメントが重要。・官民協働事業を促進すべき。
- ・学生・企業・NPO等も力に。・市民力と市役所の役割を。・市民力を調整する仕組みが必要。
- ・市民が意思決定過程や事業実施に参加できる機会を。・新しい公共の拡大。

<公共施設の経営改革>

- ・公共施設の経営改革は重要。・民間施設も含めた地域資源のリノベーションも。
- ・公共施設の利用率向上の方法を。・公共施設の配置計画を。

<市役所の自己改革>

- ・財政の健全化を。・財源を明確にして優先順位を議論すべき。・選択と集中を。
- ・行政の透明性・情報公開の拡充を。・都市像や方向を分かりやすく情報発信を。
- ・市役所がすべき仕事、する必要のない仕事を整理すべき。
- ・組織は縦と横をバランスよく柔軟に。・市役所内部の連携を。・県や近隣市町村との交流・連携を。
- ・地域経営・都市経営の発想の転換を。
- ・市民主体のまちづくりは市民が払う税金の枠内で進め、納税者としての自覚を促すべき。

第3章 分野別計画

- ・宮城県沖地震や局所的豪雨などの災害・防災対策を充実強化すべき。
- ・高齢者の介護施策・地域包括ケア・居住環境改善・一人暮らし対策・社会参加などの充実。・高齢者が自立して生活を送れる構成員としての役割を持ち続けるための配慮を。・障害者制度改革の推進を。
- ・子育て支援の充実。・待機児童問題の解決。・児童虐待対策の充実。
- ・男女共同参画社会づくりを。・女性へのあらゆる暴力の根絶。
- ・杜の都にふさわしい美しく緑豊かな都市空間づくりを。・地域の公園・緑地は面積拡大でなく地域の核として共通の利用・体験ができる地域共有空間へ。・自然資源の活用。・広瀬川の利活用。・市街地に水辺の空間。・梅田川流域・蒲生干潟の活用。・緑地・森林の保全。
- ・風格ある景観をつくるため歴史と文化を大切にする風土を。
- ・内発型産業育成の強化。・地域産業人材の育成を。・地域商店街の活性化。
- ・農業の振興・担い手育成。・農商工連携を。・滞在型農業体験や市民農園利用促進。
- ・水族館を。・自然豊かな郊外地を観光スポット化して地域活性化を。
- ・国際化は積極的に。外国人向けサービスの拡充。・全国・海外への魅力の発信力の強化。
- ・歩きやすく憩いやすい道路整備を。・幹線道路の早期開発を。
- ・公共交通の運賃制度を工夫すべき。・市民の足の交通の情報発信強化を
- ・情報通信基盤の有効な利活用。・教職員の資質向上。

第4章 区別計画

- ・区別計画の充実に賛同。・区ごとに独自でよい表現などを統一すべき。
- ・仙台らしさには各区の地域性や特性を勘案することが必要。

第5章 総合計画の推進に向けて

- ・適切な目標管理・評価の仕組みにより実効性の確保を。

* 以上の分類は便宜的に整理したもの。